児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 4月 1日

事業所名 児童デイサービスホサナ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を除まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	7	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされて	8		こだわりの強い児童は別室で過ごせる時間を作っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日清掃をして物品の消毒を行っています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画し ている	8			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保 護者等の意向等を把握し、業務改善につな	8			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	月のお便りや連絡帳を用いて行っています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	7	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成している	8			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用してい	6	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		月の担当者で行い、職員に報告しています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	8		ドライブや季節に合わせた行事を行っています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて児童発達支援計画 を作成している	8		子供たちと相談し活動を行っています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	8		朝礼を行っています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	8		申し送りノートを活用し休日の情報も共有できています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげている	8		記録で重要なことは申し送りノートに記載しています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支 援計画の見直しの必要性を判断している	8		モニタリングカンファを毎月行っています	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8		医療的ケアの児童については看護師も参加しています	
関係機関	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者 や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8			
や保護者と	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		協力医との情報交換を行っています	
の連携	25	移行支援として、保育所や認定ことも園、 幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を	3	5		
関係機	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共 有と相互理解を図っている	7	1		
関や保	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の 専門機関と連携し、助言や研修を受けてい	6	2	ネット等を利用し研修等を受けています	
護者と	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	コロナの為に実施無し	落ち着いたら交流したいです
の連	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6	コロナの為参加できていません	
携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8		連絡ノートや送迎時に行っています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な 説明を行っている	8			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意	7	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている	8		送迎時や電話等で行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	5	コロナで開催できていません	コロナが落ち着いたら開催予定します
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		相談員を通しすぐに対応しています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7	1	毎月ホサナ新聞を発行しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5	2	コロナで制限はありましたができました	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員や 保護者に周知するとともに、発生を想定し た訓練を実施している	5	2		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	4	2		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	8			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	7	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保する等、適切な対応をしている	8			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。